



「みどりの風」 さわやかに

校長 高田屋 陽子

子どもたちの元気な挨拶が校内に響くとともに、時折吹くさわやかな風に新たな季節の始まりを感じます。

天王みどり学園は、保護者の方々の男鹿・南秋地区への養護学校（現 特別支援学校）設置への強い願いを受け、平成15年に開校しました。開校当時は46名の児童生徒が在籍してのスタートでした。木の香りと温もりにも包まれた明るい校舎は、新たな教育への期待で満ちていたことでしょう。

昨年、本校は創立20周年を迎え、記念式典には地域の方々を始め、多くの方々にご参加いただき、これまでの足跡を振り返る貴重な機会となりました。そして、4年間のコロナ禍を経て、人と人とのつながりへの感謝や地域で体験的に学ぶことの大切さを改めて感じながら、令和6年度、全校児童生徒92名でスタートします。

92名のみどりっ子たちが、それぞれの良さを十分発揮して枝葉を生長させていけるよう、豊かな土、暖かな日の光、たっぷりの水、そして健やかな風を意識して職員みんなで教育活動に取り組んで参ります。どうかよろしく願いいたします。